



感染症週報



小笠原での流行状況

第28週（7月6日から7月12日まで）

父島 感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

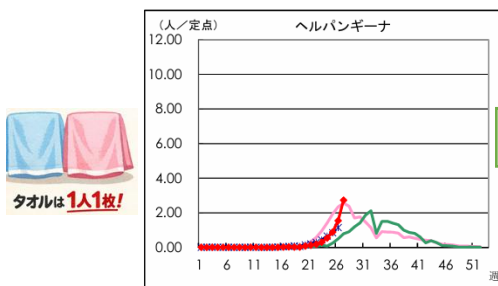
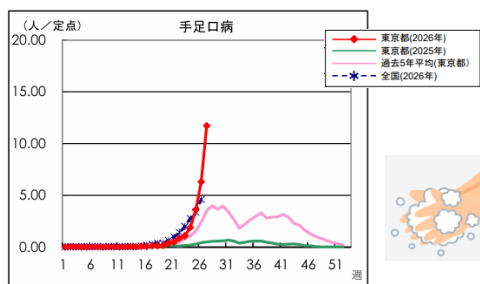
※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第27週（6月29日～7月5日）

【今週の注目される
定点把握対象疾患】

- 手足口病の定点当たり報告数は11.72と前週より増加しており、警報基準を超えています。
- ヘルパンギーナの定点当たり報告数も増加傾向です。



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome）は、主にSFTSウイルスを保有するマダニにかまれることで感染する、ダニ媒介性の感染症です。2011年に中国で新規の感染症として命名されました。日本では2013年に初めて報告され、当初は西日本を中心に発生していました。しかし2025年には、神奈川県や北海道が推定感染地とされる事例も報告され、発生地域の拡大が懸念されています。

【症状】

潜伏期間は6日～2週間程度です。主な症状は発熱と嘔吐、下痢が中心で、倦怠感やリンパ節の腫れ、出血症状等も見られます。致死率27%とする報告があります。

【予防と対策】

マダニにかまれないようにすることが重要です。草むら等に入る場合には、肌の露出を少なくする、忌避剤を使用する、帰宅後にシャワーで確認することが大切です。もし、かみつかれてるの見ついてもあわてて引き抜かず、医療機関に連絡を！

長袖長ズボン
首タオル



感染症メモ

「マダニ」と「家ダニ（イエダニ・チリダニ）」は生息場所と大きさが全く異なります。



マダニ	屋外	3mm程度(吸血すると1cm超えに膨らむ)	SFTSや日本紅斑熱等の原因になることも
家ダニ	屋内	1mm以下	フンや死骸がアレルギーの原因になる・刺されるとかゆい



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所